

関東甲信越土を考える会総会・研修会を開催しました

2023年4月4日

関東甲信越土を考える会は、3月14日(火)に千葉県成田市で総会・研修会を開催しました。

「土を考える会を考える ～原点に戻って、みんなで話そう!!～」をテーマに、会員と一般参加の生産者、事務局スタッフを合わせて50名余りが参集しました。

2020年2月に開催した総会・研修会以降、オンラインイベントを何度か開催したものの、会員同士が顔を合わせて交流するという本来の活動が出来ませんでした。お互いを高め合う関係を築ける会として再始動したいという役員の想いから、土を考える会の在り方を見つめ直すディスカッションの3本立てという企画となりました。



飯田会長

飯田勝市会長の開会挨拶に続いて始まったディスカッション、最初のお題は「The 温故知新 ～なぜこの会に？何を求めて？何を楽しみに？～」

在籍歴の長いレジェンド会員の高見澤憲一さん(長野県)、染野実さん(茨城県)、飯田会長(栃木県)が登壇し、会の発足当時の様子やご自身の入会経緯について伺いました。



左から染野実さん(茨城)、飯田会長(栃木)、高見澤憲一さん(長野)

「生きていく手段として農業に就いただけだったのに、農業や土に情熱を持った人たちに会って、そういう人たちに引っ張られてここまで来て、抜け出そうと思ってもそこから抜け出せないのが現状です(笑)」

【高見澤さん談】

「この会に来て勉強させていただくなかで、関東甲信越だけでなく全国的に見識が広がり、自分のレベルアップを実感でき、経営に活かされています」【染野さん談】

「初めは有名な農家さんばかりの集まりで緊張しましたが、皆さんが気さくに話してくださり仲間に入れてもらい、勉強させてもらったり、元気をもらい、経営に活かせるようになったので、この会を大事に思っています」【飯田会長談】

と、それぞれの想いを語られました。



また、会場の染谷茂さん(千葉県)からは、「農業は、作物を作るためじゃない。その前に田んぼをつくる、畑をつくる、そして土をつくる。土が出来上がって、それから作物ができる。そういうことをこの会で学びました」との発言がありました。



染谷茂さん(千葉)



2つ目は「**関東甲信越土を考える会 ケンミンSHOW**」と題して、高見澤副会長と片岡監事がMCを担当し、関東甲信越各県の地域性をネタにマイクを無茶ぶり!!していきました。参加者には地域の事情に触れつつ、それぞれの経営に照らしたエピソードを披露して頂きました。「あくまでも地域事情をよし悪しで計るのではなく、知っておくだけで考え方が変わればという捉え方をしていただければ……」との高見澤副会長のコメントの通り、様々な地域の情報に耳を傾けたり、時折笑いが沸き起こる場となりました。



そして最後のディスカッション「**これからの農業をどう考える?**」へ。世襲以外の事業継承、集落営農を起源とする経営、兄弟経営、ワンオペ……など、当事者として苦悩を抱えながらも前を向こうとしている仲間同士だからこそ話せるトークが続きました。

研修会後に開催された総会では、全ての議案が承認された後に役員改選が行われ、新会長に渡邊宏幸さん(栃木県)、副会長に片岡孝介さん(茨城 監事を兼務)・金澤誠さん(新潟 会計を兼務)・矢野智さん(長野)・宇津木裕幸さん(千葉)、相談役として飯田勝一さん(栃木)・高見澤憲一さん(長野)が承認され新役員となりました。

総会後の情報交換会は、久しぶりの再会に喜び、談笑する姿が印象的でした。研修会での話題が参加者の皆さんの交流を深めるきっかけになっていたことがうかがえ、明け方まで話が止まない方々もいらしたとか……。

新たな役員体制で再始動してまいりますので、今後の活動にもご協力を賜りますようお願いいたします。



左から渡邊さん、片岡さん、矢野さん、金澤さん、宇津木さん

